

産業分野の気象情報利用のためのワークショップ（第4回）開催について

気象庁、（一財）気象業務支援センター及び気象振興協議会では、産業分野における気象情報の利活用拡大を目的に、気象庁と民間気象事業者、気象情報の利用者との意見交換等を行うためのワークショップを開催しています。

第4回となる今回のワークショップは、“「産業を支えるユーザーコンシャスな気象情報とビジネスの展開」～産業界における季節予報の利用拡大を目指して～”をテーマとして以下のとおり開催します。

日時：平成28年12月14日（水）14時00分～16時00分

場所：気象庁講堂（東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁2階）

対象者：気象情報をビジネス等で利用中または利用に興味のある方

内容：

テーマ「産業を支えるユーザーコンシャスな気象情報とビジネスの展開」
～産業界における季節予報の利用拡大を目指して～

1. 気象情報の利活用環境の充実について（気象庁）
2. パネルディスカッション

気象情報の産業への利用拡大を目指す取り組みの一環として、気象庁では、異常天候早期警戒情報として提供している2週間先までの気温の情報の改善を検討しています。ここでは、この検討案をご紹介しますとともに、現在既に情報をご活用いただいている方々をお招きし、改善についての期待や課題についてご議論いただきます。あわせて、季節予報全般に関しても将来の展望についてご意見を伺います。

<パネリスト>

農研機構農業環境変動研究センター上級研究員 大野 宏之
(株)ワコール 総合企画室事業企画部事業企画課 池田 奈緒子
(株)ライフビジネスウェザー取締役 常盤 勝美
東京大学大気海洋研究所副所長・気象振興協議会会長 木本 昌秀
気象庁地球環境・海洋部気候情報課予報官 竹川 元章

<モデレーター>

気象庁地球環境・海洋部気候情報課長 眞鍋 輝子

3. その他

- 写真・映像等のカメラ撮影は、冒頭のみ可とさせていただきます。
- 過去のワークショップの資料等は、気象庁ホームページへ掲載しています。

(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/minkan/srs_ws.html)

本件に関する問い合わせ先：総務部情報利用推進課 03-3212-8341(内線 2286)